

議会だより ふだい

FUDAI 40

No. 131

平成27年4月23日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。



笑顔はじける入園式

(4月7日、はまゆりこども園で)

3月定例会のあらまし — 27年度予算41億円を可決 2頁

「地方創生」— まち・ひと・しごと交付金事業をチェック! 4頁

商店街再起策など問う! — 4議員が一般質問 6頁

普代の魅力発信など27年度の注目事業・予算審議、陳情・請願など 12頁



笑顔あふれる村目指して!

固定資産委員に 大村さん再任



任期満了に伴い、太田名部の大村政義さん(61)を村固定資産評価審査委員会委員に選任することに全員賛成で同意しました。大村さんは4期目で、任期は平成27年5月1日から平成30年4月30日までの3年間です。



村づくりには若者たちのあふれるパワーが必要です(昨年のふだいまつり)

予27
年度
算

総額41億円を可決

村議会3月定例会が3月3日から6日までの4日間開かれ、平成26年度の補正予算や条例改正など30議案が審議され、賛成多数で可決しました。

平成27年度予算は、人口減少対策や観光振興などの事業が特徴で、一般会計と6特別会計を合わせた総額は41億5,320万円。これらを慎重に審議し、可決しました。

村の政策を問う一般質問には4人が登壇。鶯鳥神楽の伝承や消防団員の確保、災害基金の創設、人口減少プロジェクトチームの提言書にかかる質問がされ、村の重要施策を問いただしました。

26年度正
補 給食センター工事など
約1億5千万円を増額

平成26年度の一般会計補正予算は、歳入歳出に1億5411万4千円を増額し合計を28億3930万3千円にしました。

主なものは給食センター建設費1億2975万9千円を増額。この予算は一度12月定例会で国の補助事業が採択にならなかったことから減額しましたが、今回、再度補助が認められての再計上されたものです。工事は27年度になります。そのほかの主なものは、
▼いわてニューファーマー支援事業補助金75万円▼小中一貫校施設整備基本構想業務委託料192万円▼太

「地方創生」事業に
3706万追加

国の進める「地方創生」の先行型事業として、総務費に「まち・ひと・しごと創生費」を新たに設け、プレミアム商品券など11事業3706万7千円の予算を追加しました。同事業は26年度の補正予算となりますが、11事業とも27年度に繰り越され行われます。事業内容は4、5ページでお知らせします。

補正予算の主な質疑

給食センター造成費は

中村議員

問 学校給食施設建設予定地の旧陸中製材所の土地の造成費用はどうなるのか。

松葉教育次長

答 学校給食施設工事請負費の中に300万の土盛り費用が含まれている。

太田建設水産課長

答 三陸国道事務所から沿岸道路の土を4千m²ぐらい提供してもらうので、敷き慣らしの費用だけとなる。

普代港線の工事内容を

中村議員

問 普代港線の道路復旧工事750万の計画範囲は。

太田建設水産課長

答 計画は水門から外(海)側の部分で、舗装部分も傷んでいて、その工事をしようとするもの。

将来の水道工事でも舗装をカットせずに、盛土部分

で延長できるので、舗装には影響ない。

野球場の改修内容は

森田議員

問 野球場の大規模改修の内容は。

松葉教育次長

答 グラウンドは1度土を掘り起こし新しい土を入れて整備する。バックスクリーンのストライク、アウト、ボールの表示も変更する。

落合産直トイレ減の理由

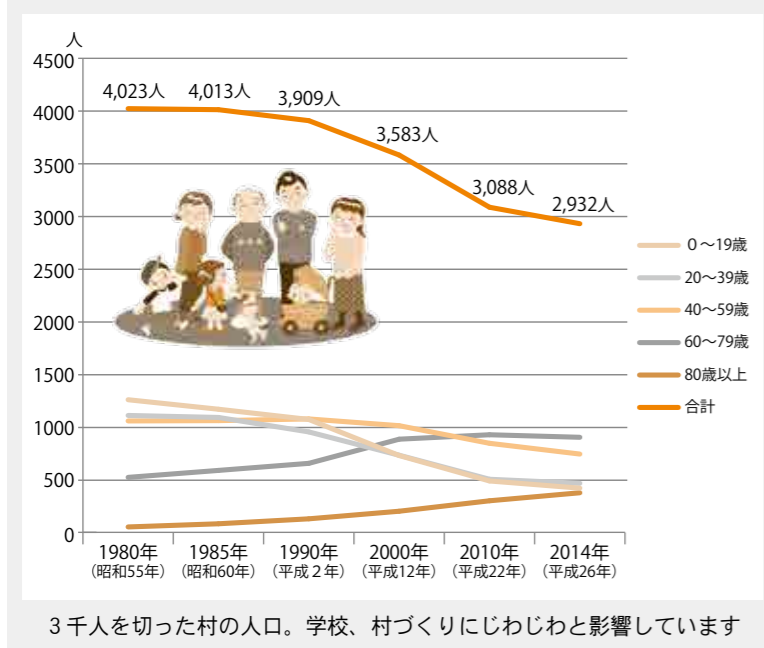
中村議員

問 農林水産施設の直売所トイレ移設工事90万7千円減の理由は。

佐々木農林商工課長

答 国からの補償費が39万8千円、一般財源が138万8千円。全体で53万5160円の工事費となる。主な内訳は基礎工事60万、給排設備工事235万となる。

【村の人口の推移】



「地方創生」の基本方針

- 若い世代の 就労・結婚・子育て支援
- 「東京一極集中」の解消
- 地域の特性に即した 課題の解決

4割が田舎住んでいい

内閣府のアンケート調査では、東京から地方に移り住んでもいいという人が4割で、理由は住宅など生活費が安く、通勤時間も短い、東京での生活より余裕がでるという回答でした。一方で、不安材料として、

の特性に即した地域課題の解決一を掲げました。

26年度補正予算

「まち・ひと・しごと」交付金事業を可決

人口減少対策などに11事業

3月定例会の26年度一般会計補正予算で、村は国の「地方創生」に関係する先行型交付金3706万円の11事業を提案。議会ではこれらの内容を審議し可決しました。本ページでは交付金にかかる11事業と、なぜ今、国が地方創生を進めるのか、そして主な質疑をお知らせします。

まち・ひと・しごとと交付金の11事業

【地域消費喚起・生活支援型・地方創生先行型 3,706万円】

千円未満の端数は調整

事業名	事業費
プレミアム付き商品券事業	400万円
低所得者向け福祉灯油購入助成事業	131万円
子育て支援商品券事業	396万円
普代村総合戦略策定事業	640万円
地域資源発掘周遊観光バス運行事業	197万円
青の国ふだいファン会員登録制度事業	285万円
学官連携で推進する「おためしU愛」ターン」支援事業	750万円
特産品ブランドづくり事業	333万円
はまゆり子ども園給食費支援事業	384万円
普代村新卒者等雇用促進奨励事業	180万円
普代村新規漁業者支援協議会補助金事業	10万円
合計	3,706万円

※国の支援(交付金)…都道府県999億円、市区町村1,484億円、計2,483億円

なぜ、今「地方創生」なのか？

東京一極集中の解消

昨年11月、国は「まち・ひと・しごと創生法」を制定。その背景には、昨年5月、元総務大臣の増田寛也氏ら有識者グループが発表した「自治体消滅の危機」がきっかけでした。増田氏らの試算では、少子高齢化と人口減少が続けば、地方では仕事がないことなどから若い人の東京への流入が加速し、その結果30年後には20代、30代の女

性が半減。機能維持が困難になる「消滅の恐れがある自治体」が896にも上ると発表しました。

このような推測や、さらには東京一極集中の解消、東京圏など都市部の出生率が極めて低いことなどから、国は「地方創生」を打ち出しました。

地方創生では、①しごと：雇用の質・量の確保と向上②ひと：有用な人材の確保・育成、結婚・出産・子育てへの支援③まち：地域

事業内容など質疑

U愛Jターン事業は

問 U愛Jターン事業の内容を伺う。

答 学官連携として大阪の追手門学院大学地域創生学部で、地域づくりに向けた連携を学生の考え方を活用して村づくり、村の「まち・ひと・しごと」創生に取り組んでいこうとするものである。

新規漁業支援の内容は

問 「普代村新規漁業者支援協議会」への補助金10万の内容は。

答 太田建設水産課長



海フェスタで人気の海上パレード

「青の国」事業の内容は

問 「まち・ひと・しごと創生費」「青の国ふだい」フェア

答 新規漁業者の確保のために協議会を設立し、仙台や東京で開催される催しでPRし、なかなか浸透しない村の漁業を説明し漁業者を確保するための予算。

以前の商品券との違いは

問 中上議員

答 以前からある10%のプレミアム商品券との使い分けはどうなのか。

答 今回は20%のプレミアムで実施する。500円券10枚で1セット、5千円で販売。全部で4千セットで、商工会への補助となる。



消防団員確保の優遇を

団員数の確保に努力する

—— 梶屋 村長

金子議員 大震災以降消防団の重要性が増してきているが、団員の確保が難しくなっている。企業、事業所の従業員が入団しやすいよう消防団協理事業所に認定するなど、独自の優遇措置を設けてはどうか。

梶屋村長 村の消防団員の定数は165名で、現在は147名となっている。人口比では、5・09%で県下、上から6番目だ。また、村の職員29名が消防団に入っている。安心安全な村づくりで消防団の必要性はますます高くなっている。議員、消防団幹部などと相談し、消防団の充実、団員確保に努める。

滞在型観光を進めるべき

金子議員 村には自然環境豊富な海の恵みなど素晴らしい環境資源がある。

商店街を再起させよ!

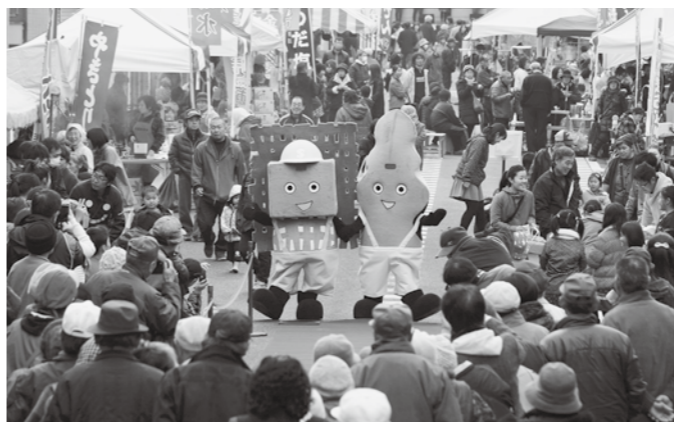
特色あるイベントを実施

—— 梶屋 村長



小屋敷議員 商店街のある店では売り上げが2年前の半分という。街中再起についての見解を伺う。

梶屋村長 三陸沿岸道の普代道路の共用により、街中45号の交通量は開通後1年で、1日4300台あったものが1600台、63%減少している。今後、定期的に「特色あ



盛り上がった昨年の「ふだいまるごと元気市」

るイベント」を実施したらと思い、関係団体と協議したい。「ふだいまるごと元気市」は賑わっているとの評価もあり、支援を続け定着させていく。

小屋敷議員 商店街が産直センターとか、道の駅という形で観光客を集める施設計画の考えはないか伺う。

村長 集客増加の取り組みや、商品を外向けに販売する工夫に取り組み。定期的なイベントを続ける中で、それが将来的な効果となり、商店の売り上げ増につながる。それが重要である。

小屋敷議員 普代道路を利用した普代駅周辺への道の駅の構想は

しかし、観光客は増えていない。交通網の発達により日帰り通過型の観光客が増えている。この状況を滞在型の観光にすべきと考えるがどうか。

村長 滞在型観光は村内経済に広く波及効果をもたらす。伝統芸能、地域固有の風習、食文化、産業活動などあらゆる資源を生かし、観光客がゆとり、安らぎ、そして感動を覚え、再び訪れたいと思う個性と魅力がある。



今年2月に黒崎公民館で行われたJTBの滞在型ツアー

村長 お話のとおり、施設に入所していない75歳以上の一人暮らし世帯は110世帯で、少しずつ増加が続いている。現在実施している取り組みは、県と村の「高齢者・

ないか伺う。

村長 村の観光、売り上げのた

神楽の後継者対策は

小屋敷議員 鶴鳥神楽が国指定の重要無形民俗文化財に決定した。伝承活動をさらに充実させ継続していかねければならないと思うが、後継者不足の現状について村長の考えを伺う。

村長 教育委員会の文化財保護の推進として支援に取り組み。後継者の確保、育成については極めて重要な課題として位置付けている。村でも、子ども神楽や中学校の同好会組織が後継者確保・育成につながるような再編を含め、鶴鳥神楽後援会などの設立による関係者の指導をいただきながら取り組む。

めにも「やろう」という思いはある。施設、駐車場の設備など、国からの支援の要請をしていく。

小屋敷議員 村で1名の職員が一生懸命神楽を頑張っているが、この指定を機にあと数人継承者として若い職員を神楽に参加させてもらいたいと考えるがどうか。

村長 現在、神楽に取り組んでいる職員1名は、小中学生へ伝統芸能を継承して、子どもたちを健全に育てるという取り組みとして、職務に専念する義務を免除している。新たな増員は、希望する職員がいれば対応する。職務命令として、「神楽をやらせ」ということはできない。地域貢献と文化の伝承のため必要な取り組みと、今後職員に話していきたい。

観光地づくりを進めたい。そのためにも、村民の地域を誇りとする気持ちや、おもてなしの心を育み、本物の体験メニュー作り、語り部の育成に取り組む。普代インター利用については、北山崎の関係者の方

高齢者・障がい者住宅を

金子議員 今後増加していく高齢者、障がい者に優しい村づくりとしての村営住宅を建設すべきである。村長の考えを伺う。

障がい者に優しい住まいづくり補助事業」、村単独での「住宅リフォーム助成」、久慈広域連合での「住宅改修給付」、税制の優遇措置などがある。バリアフリー化などの改修も助成する。堀内地区に、27年度は村営住宅1棟を建設し、6棟で完了となる。今後、移転、建設予定の南浜住宅や既存の村営住宅の改修を検討する。久慈広域連合での介護関係の施設整備計画には、障がい者にも対応した併用型の住まいとしての介護サビズなしのケアハウスを計画している。

若手チームの提言書、公表を

住民へ周知徹底、成案とする

—— 榎屋 村長



なかみ かずと
中上 一登 議員

災害救援基金の創設を

適切に配分、支払いをしている

—— 榎屋 村長



さかした しげお
坂下 重雄 議員



村若手職員が企画した村性化案が掲載された提言書

中上議員 若手職員が地域を回りまとめた「人口減少対策プロジェクトチーム」の提言書を住民にも早く示すべきである。

榎屋村長 今後5年間の総合戦略の策定作業で、住民から検討委員会に加わっていただき、またアンケート調査も実施する。住民への周知を徹底し、成案としていく。

中上議員 住民は他地域の意見を知ら



震災直後、村に届いた多くの救援物資

坂下議員 近年、温暖化による気象異変によって各地で家を失い生活基盤を失うなど痛ましい災害が頻発している。震災地の者として「助け合い、感謝」の心を深く胸に刻んでおかなければならない。

そのことから現在も寄せられる義援金を災害基金に振り向け、今後の救済資金にし、また今後各地の災害支援に充ててもよいと考えるがどうか。

榎屋村長 本村の被災者などに全国の皆様からのご支援に心から感謝とお礼を申し上げる。そして被災者の皆様へは義援金の全て、村への支援金の一部など適切に配分、支払いをしている。

赤字からの義援金、県からの配分なども加え義援金配分委員会口座に受け入れをしている。人的被災のあった方々への配分は一般会計には計上せず配分支払いしている。

学校建設の方向性早く

中上議員 らない。早く示して、意見を考えておく準備も必要だ。

中上議員 小中一貫校建設の方向性が3年たっても示されない。

三船教育長 村長の施政方針にもあるが、27年度末には決定する。財政計画など、将来予測も含めながらの検討で簡単ではない。施設整備計画策定委員会です十分な協議をして進める。

村長 庁内の一貫校施設整備計画策定委員会で、専門家への委託をしながら試算している段階であり、報告書については早く議会に説明できるように手配している。

村長 今後、実りある議論とするため急いで手配する。

中上議員 構想委員会から4案出ている。村長が方向を決定すれば4年もかからない。

村長 方向性を打ち出すために検討している段階だ。20数億という事業で、ほかのサービスへの影響を考えると慎重に取り組むことになる。

チップ製造機の導入を

坂下議員 国民宿舎「くろさき荘」にチップボイラーが設置稼働されているが、地元での燃料自給を図ってはどうかと考える。

村長 山林の間伐整備と併せて働く場を少しでも得られることから小規模チップ製造機の導入を考えるべきと思うが、今後の計画を伺う。



くろさき荘に設置されたチップボイラー

村長 くろさき荘の燃料費の削減だけでなく、山林の間伐整備などの促進と雇用の創出もできればということでも検討も重ねてきている。

結論的にはくろさき荘以外でも導入が進み、チップ需要が増加していけば地元でのチップ製造コストも下がりが、現在の流通価格と同等で提供でき、事業化の可

能性もある。

しかし、当面のくろさき荘だけでは採算が厳しいものと断念しているところでもある。

また、小規模破砕機なども検討はしたが、木材の太さとか、破砕チップのサイズの面で導入ボイラーには使用不適など問題もあることから今後とも研究検討をしていく。

教育長 小学校でスポーツの魅力を知った児童が、それを続けたい気持ちとご父兄の思いを教育委員会として抑えることはできない。

このような事態は他市町村でも起きており、今後傾向は強くなると思う。個々の考え方が尊重されることではあるが、学校と連携し方向性を探る。

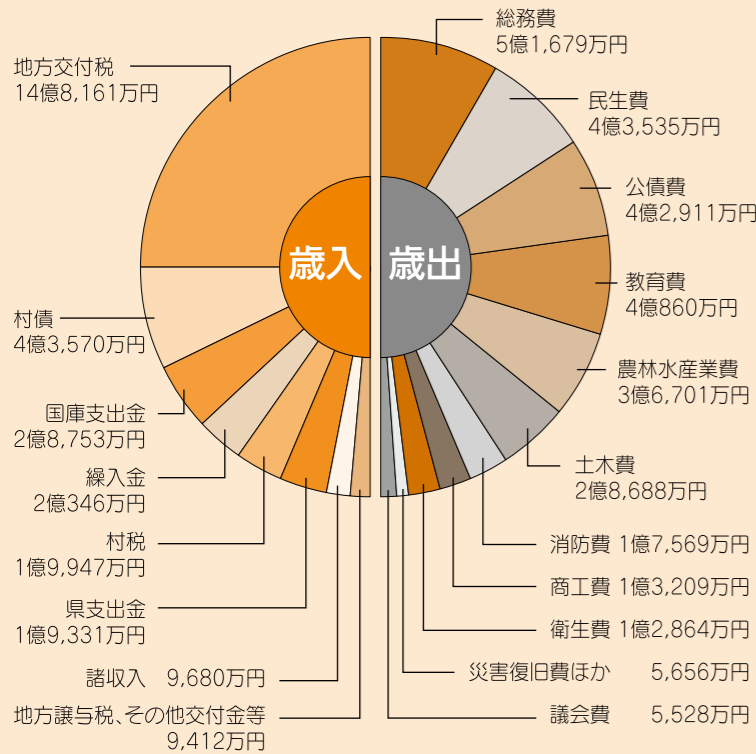
中上議員 個々の問題とは別に、村としての問題でもある。抑えるのではなく、普代中学校に通いながらできる体制対策は考えていないか。

教育長 ほかの学校との合同チームも可能だが、個人と団体のある競技は統合チームがつかれない難しさがある。小規模校が増えているので、今後県の中総体に働きかけて、子どもたちが励める体制を作っていきたい。

※このほかの質問：「くろさき荘職員へ配慮を！」

平成27年度予算額

◆一般会計 29億9,200万円 (前年度比 9.3%増)



◆特別会計 11億6,120万円 (前年度比 14.9%増)

国民健康保険	5億1,790万円
国民健康保険診療施設	2億1,040万円
簡易水道特別会計	1億2,820万円
休養施設事業特別会計	2億5,440万円
漁業集落排水事業	2,180万円
後期高齢者医療事業	2,850万円

◆歳出(使うお金)の主な用語説明

- 総務費……村長や特別職、職員などの人件費、財産管理、地域振興に使う経費
- 民生費……高齢者や障がいを持つ人、児童の福祉推進に使う経費
- 公債費……諸事業の財源に借りたお金の返済に使う経費
- 教育費……子ども園、小中学校の運営や管理、生涯学習、スポーツ、文化財保護などに使う経費
- 農林水産費……農林水産業などに使う経費
- 土木費……道路や公園、公営住宅の整備などに使う経費
- 消防費……消防活動や救急救命活動に使う経費
- 商工費……商業や観光に使う経費
- 衛生費……ごみやし尿、健康の増進のために使う経費
- 議会費……議会議員の報酬、議会運営に関する経費

■H27・注目の4事業

予算特別委員会(小屋敷亮二郎委員長)は、3月4日から6日までの3日間開かれ、平成27年度の一般会計予算と6特別会計の総額41億5,320万円の事業を審査し、原案の通り可決しました。

本予算には、普代の魅力を発信し、人と人との交流を推進する事業が盛り込まれています。

これまで議会でも、ふるさと納税の推進や地域おこし協力隊の導入、インターネットを活用した情報発信などを提言してきましたが、27年度は総務課内に「地域創生室」が設けられ、それらの事業が本格的に実施されます。

「地方創生」が叫ばれる中、全国の各市町村も地域資源を掘り起こし、趣向を凝らした新しい計画を実施するでしょう。村でも本気度を示していかなければなりません。本ページでは27年度予算から4つの注目事業をお知らせします。

村の魅力発信し、人と人との交流推進

チャレンジ①



塩蔵ワカメやすき昆布など村の特産品

青の国ふだい ふるさと便PR事業 事業費 192万円

今話題の「ふるさと納税」の推進を図るとともに、村へふるさと納税を行った個人に対して村の特産品を贈呈し、普代ファンと村内産業の活性化を目的としています。

寄付者には特産品のほか観光パンフレットや商店のパンフレットなども送付してリピーターの効果も望めます。

4月1日からは電子決済も導入され、寄付金も伸びています。26年度の寄付額は120件、1,400,500円でした。

チャレンジ②



銀次選手応援ツアーなどにも活用できます

ふるさと元気！ 応援事業補助金 事業費 200万円

村民の元気づけや郷土愛を深めることを目的に、村内の地区や各種団体などが自主的に行う公益的な事業に対して、補助金を交付します。

1団体10万円を上限とし、予算は200万円。事業内容は、村民と村外の人との交流会や地域資源の活用・発掘、消費拡大に関する事業、子どもから高齢者まで学べる学習活動、人材育成事業、環境保全、自然環境保護活動など幅広く活用できます。

チャレンジ③



地域おこし協力隊として村で働く鬼束さん(左)と谷増さん

地域おこし協力隊 受入事業 事業費 743万円

人口の減少や高齢化などの進行が著しい村で、外からの人材を誘致し、定住・定着を図り、都市部の住民のニーズに応えながら地域力の維持・強化につなげようとする事業です。

今年の1月から宮崎県出身の鬼束拓哉さん(33)、4月から広島県出身の谷増剛さん(32)の2人が総務課地域創生室で働いています。国の制度を活用した事業で、任期は最長で3年です。

チャレンジ④



今年6月ごろに釣り大会が行われる予定の太田名部漁港

青の国ふだいの 魅力体感交流事業 事業費 100万円

都市住民との交流人口の拡大を図り、村の産業、観光、人の魅力を発信し、村の魅力を体験してもらう企画です。

県内向け交流事業として6月ごろ太田名部漁港で釣り大会を計画しています。

村観光大使の宇佐元恭一さんには、コンサート時にアンケート入りのすき昆布を配布してもらい、消費者ニーズの情報を得るほか、交流人口の拡大を図り、人口増加や観光振興を目指す事業です。

VOICE みんなの声



金子 太一さん (30歳=黒崎)

人口を増やす対策を

なんといっても村の人口を増やしたいです。子どもが減ってきて寂しいと感じるときもありますし、漁師も農家も今担い手不足だと思います。働く場所がないと住めないし、暮らしていけない。人に勧めるには、自分が住みたいと思う村じゃないとだめだと思います。

若い人で村営住宅やアパートに住みたいと思っている人は多いです。空き家にしても受入体制がないと思いますし、住宅の整備が必要だと思います。簡単ではないと思いますが、みんなで危機感を持って人口を増やす対策をするべきだと思います。



中村 智暢さん・朝陽君 (36歳・2カ月=中央区)

若い人の働く場を

盛岡市に10年以上住んでいたことがあるので、買い物や交通の面でどうしても不便に感じる場合があります。車がないと生活ができないって感じです。

でも、子どもの医療費が無料だったり、子ども園の費用も安く済むし、子育てには優しい村だと思います。それにワカメやウニ、野菜など近所や親戚などからもらえるので、その点もとってもいいです。地元ならではのですね。

やっぱり若い人が住むには、働く場が必要だと思います。スーパーに負けないような産直や道の駅もあったらいいと思います。

森林整備の周知は

中村委員

問 村有林整備、森林整備の内容と、整備を村民にも周知しているのか。

答 佐々木農林工課長

村有林はコナラの育成のために、細い原木を除間伐している。森林整備は数名に声をかけている。

中村委員

問 間伐せずに、育てていったらどうなるか判断を聞く。村の財産にだけ経費をかけず、村民にもつと広く周知し、民有地も整備せよ。

太田副村長

問 23年も経つコナラの除間伐にあたっては、再度事業執行の調査が必要ではないかと思っている。

答 森林整備計画は森林組合任せで、もっと村が村民に周知すべきと考える。

住宅確保補助の内容は

金子委員

問 水産加工業の人材・住宅確保補助金2120万の内容は。

答 太田建設水産課長

水産加工の人材確保のために、宿舍やアパートへ

スポーツ委託の内容は

大上委員

問 スポーツ開催の委託料397万は多すぎないか。

答 松葉教育次長

これは人件費200万円のほか、村主催のグランドゴルフ大会などさまざまな大会をまゆりスポーツクラブに委託している。

岩手国体の準備状況は

森田委員

問 普代も岩手国体の軟式野球競技の会場になっているが、準備状況を伺う。

答 松葉教育次長

28年度の岩手国体は普代村の実行委員会に補助金を



岩手国体の軟式野球競技の会場となり、改修が行われる予定の北緯40度運動公園野球場

を出し、実行委員会ですら決めたことをやっていくか

野球場を改修することによる今後の維持経費は、トイレの水洗化によって水道料が増える。

くろさき荘の改修は

森田議員

問 くろさき荘の改修案1億2800万円の計上は前回の議会全員協議会での提案と同じ案での計上か。

客室 くろさき荘の改修 1億投入、是か非か!

予算特別委員会(小屋敷亮二郎委員長)では、総額41億5,320万円の事務事業が村から提案されました。中でもくろさき荘の客室改修工事に1億2,800万円が計上されましたが、村側から納得のいく説明はなかったことから、再度協議をし事業を行うことの付帯意見を付け可決しました。主な質問と答弁は次の通りです。

中上委員

アンテナショップ運営は

問 駅前アンテナショップは、緊急雇用創出事業の国庫補助がなくなればどう運営していくとするのか。

答 佐々木商工観光対策室長

人件費は補助金で賄い、27年度までの補助事業である。

その後の人件費を賄えるかどうか分らないが、ふるさと納税のお礼品発送や、特産品販売に関わる重要な事業であり、収益を生めるように継続していくつもりである。

今年3月から商工会、アンテナショップ、くろさき荘などで総合的な販路拡大や運営などを話し合っている。

費用対効果を検証したか

中上委員

問 くろさき荘の客室改修工事は費用対効果を検証した結果であるのか。雨漏りを心配する声もあるが大丈夫か。

答 佐々木商工観光対策室長

冷暖房設備はお客様のニーズもあり提案した。

震災前は年6千人〜7千人の集客だったが、夏場冷暖房設備がなく集客できなかったため、工事関係者がなくても収支の取れる1万人を集客するための設備である。屋根は確認していないので、調査確認した上で対応する。

県と村合わせて半額を補助する。新規の雇用者に対し、宿舍であれば1人当たり最高200万。アパートなどの借入れであれば、月最高4万円以内を補助する内容である。

請願・陳情

陳情1件を採択

3月定例会に提出された陳情は1件でした。産業経済常任委員会（森田幸一委員長）で審査した結果、採択することに決定。採択された陳情1件は次の通りです。

被災者の支援 拡充など要望

▼陳情人：被災者生活再建

支援制度の拡充を求める署名運動推進協議会（代表世話人 瀬川愛子（盛岡市））

▼陳情の内容：東日本大震災津波による被災者の生活再建の推進や、局地的な自然災害による被災への支援の充実を図るための措置を講ずるよう、国などに要望するもの。

具体的には▼被災者生活



多くの建物が倒壊した東日本大震災津波（堀内）

再建支援金の最高額を300万円から500万円に引き上げること▼その支給を、半壊を対象に含めるなど対象を拡大すること▼局地的

な災害にも対応できるように支給要件を緩和すること▼支給拡充に当たっては、国の負担割合を引き上げるのと▼住宅再建の難しい被災者に災害公営住宅への入居に係る負担軽減等を含めた居住確保のための総合的な支援策を実情に合わせ拡充すること

また、このことに関する意見書を議員発議で提案し、全員賛成で可決。国などに送付しました。

村に3項目を提言

くろさき荘の客室改装など



証屋村長（左）に提言書を手渡す大上議長（右）

第2回臨時会

（3月26日）

平成26年度・平成27年度の一般会計補正予算、村道路線の認定・変更など6議案が提出され、全員賛成で可決しました。

一般会計では、歳入歳出に7266万2千円を増額し総額29億1196万5千円にしました。

地方創生の概要学ぶ

東部町村議会議長会（阿部六平会長）の研修会が3月27日、大槌町の「三陸花



地方創生の概要を説明する竹中主査

ホテルはまぎく」で行われ、「地方創生について」と題して、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の竹中理登主査が講演しました。普代村や岩泉町、山田町、大槌町の議会議員ら約40人が参加。人口減少、過疎化を食い止め、活力ある日本社会を目指すことなど、国と地方における総合戦略の概要などを学びました。

鎮魂の灯りに祈る

東日本大震災4周年記念事業「キャンドルナイト」鎮魂の灯りが3月11日、普代駅前広場で行われました。



ろうソクに火をともし子どもら

子どもから大人まで約300人が集まり、ガラス瓶に入ったろうソクに火をともし、震災の犠牲者に黙祷を捧げました。議会では震災後

議会の主な動き

議員が出席した会議や研修会、行事などを報告します。（1月26日～3月25日、抜粋）

1月 ▶26日・村議会全員協議会（役場）▶27日・第71回国民体育大会希望郷いわて国体普代村実行委員会設立総会・第1回総会（役場）▶30日・岩手県沿岸知的障害児施設組合例月現金出納検査（宮古市）

2月 ▶3日・久慈広域連合全員協議会（久慈市）▶11日・佐々木大和県議を囲む「新春の集い」（岩泉町）▶12日・久慈広域連合議会定例会（久慈市）▶20日・県町村議会議長会第66回定期総会、東部町村議会議長会臨時総会（盛岡市）▶24日・村議会運営委員会（役場）、岩手北部広域環境組合議会定例会（九戸村）▶27日・岩手県沿岸知的障害児施設組合例月現金出納検査（宮古市）

3月 ▶1日・熊谷聰氏叙勲受章祝賀会（くろさき荘）▶3～6日・村議会第1回定例会▶11日・東日本大震災4周年記念事業「キャンドルナイト」～鎮魂の灯り～（普代駅前）▶14日・普代中学校卒業式（同中体育館）▶18日・議会広報常任委員会（役場）▶19日・岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会（宮古市）、久慈広域連合議会全員協議会（久慈市）▶20日・普代小学校卒業式（同小体育館）▶24日・はまゆり子ども園卒園式（同園ホール）▶25日・久慈広域連合議会臨時会（久慈市）

なま生の議会をご覧ください！

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）に開かれます。個人、団体でも傍聴できますので、議会事務局（電話 35-2118）まで気軽にお電話ください。また、村民ホールのテレビでも見ることがありますので、お気軽にお越しください。

■食の魅力発信！

普代人が愛する、普代の食

フードアイ
Food 愛

普代の新鮮なワカメは味、食感だけでなく目でも楽しませてくれます。増えるワカメしか食べてなかった僕は、普代の魅力に取り付かれ、先日宮崎に帰省した際におみやげに持って帰り、仲間たちに振る舞いました。みんな大喜びで、子どももパクパク食べている姿を見て、普代にきた意味(良さをPRすること)を改めて感じました。そういう気持ちにさせてくれた村の皆さんに感謝しています。



文/地域おこし協力隊
おにつか たくや
鬼束 拓哉さん



普代産 わかめ

提供/合砂 洋さん(中央区)



豊かな自然が好き！

普代小6年 川向 柚歌さん

私たち普代小学校の生活目標は「輝く笑顔 明るいあいさつ みんなでつなぐ普代の心」です。私たちがあいさつをしたら、地域の方がちゃんと返してくれるのがうれしいです。

普代は自然が豊かで、桜もとってもきれいです。学校の花壇の花もきれいで好きです。鳥居から見る海も大好きです。いつまでも自然豊かで、みんなであいさつを交わす普代村でいてほしいです。

V O I C E
未来予想図 Fudai



笑顔がたくさんある村

普代小6年 鎌倉 蓮君

普代は笑顔がたくさんあるし、話すとみんな優しく接してくれます。好きな場所は黒崎展望台です。海がきれいだし、岩に波が打ち付けられる様子が好きです。

僕は将来、医者になりたいです。理由はみんなの役に立てそうだからです。大人になって普代にいるか分かりませんが、将来の普代村は、みんなが健康で、お年寄りの方も元気に外を歩いている村になってほしいです。

委員 副委員長

議会広報常任委員会

中上 一登
森田 幸一
坂下 重光
小居 敏光

より早く、より分かりやすく、より見やすく、どのようにしたら村民の皆様にも親しまれる「議会だより」になるのか、中上委員長を中心に皆で考え編集作業を行っています。議会に、議会だよりには皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。(森田幸一)

議会だよりの編集にかかわらせていただき8年になります。一番の課題は、住民の皆様に登場していただくことです。今回は4名もの村民の皆様にご協力いただきました。ありがとうございます。紙面も初の2色刷りとなり、文字数も極力減らしたつもりです。だいぶ読みやすくなったと思っています。いかがでしょうか？(中上 一登)

あ
と
が
き

